



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-10

4月号

発行 2020年4月7日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”
 「より良い明日のために今日を築く」
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 “Innovation with courage, action with heart!”
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎
 副会長 松川 厚子
 会計 山崎 純子
 書記 利根川 太郎

4月の聖書

イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。」
 (ヨハネによる福音書 6章 35節)

Jesus said, “I am the bread of life. He who comes to me will never go hungry, and he who believes in me will never be thirsty.”
 (John 6:35)

2020年3月の統計 (3月31日)

在籍11名 コロナウイルス感染防止のため
 中止

2020年 4月 例会予告

4月例会もコロナウイルス感染防止のため中止とします。

3月例会報告

利根川 太郎

・ 中止により報告事項はありません

会長メッセージ

川越ワイズメンズクラブ 会長 吉野 勝三郎

皆さんいかがお過ごしでしょうか？私は、海外旅行業に関わっていますので、まさに危機的状況です。今回の“COVID-19”禍の終息の目途が一日も早くついて欲しいと願うばかりです。日本のキリスト教会によっては、日曜礼拝だけでなく、すべての集会を取り止めているところもあると聞いています。イタリア・米国等の罹患率と死亡率の高さには驚きです。葬儀を司る聖職者が罹患して死亡するケースが多く発生しているという報道もあります。

このような状況ですので、川越ワイズメンズクラブとしては、3月に引き続、4月の例会も中止します。それに代わって、ぜひ次のことをお願いします。

- － 会員各位の近況をお知らせ下さい。勤務先のこと、ご家族のこと、日々の生活のことなど、差し支えない範囲で、お互いに状況を共有したいです。
- － YMCAもさまざまなプログラムが中止、または延期になっています。埼玉YMCAをサポートすることを使命とする私たちのクラブとして、何ができるか、提案・提言をお願いします。
- － 川越ワイズメンズクラブの今後の活動についてのご意見をお寄せ下さい。

会長メッセージへの対応

利根川 太郎

1. 会員の皆さんの近況等について
メールやメッセージ等で、利根川宛お送りください。次回以降のブリテンに掲載します。写真等も添付していただくとよいかと思います。
2. 提案・提言
会長宛にメール等でお送りください。その際に利根川にも CC していただくと幸いです。
3. 今後の活動について
会長宛にメール等でお送りください。その際に利根川にも CC していただくと幸いです。

YMCA 報告

河合今日子

政府の方針を受け、3月2日から小中高が休校となりました。私たちは、この間、大幅に行動が制限される生活が子ども達の健康面、精神面に与える影響を懸念し、これまで平日の放課後に行っていたデイサービスを、日中のデイサービスに変更しました。

YMCA では、午前中のみ参加する子、午後から参加する子、終日参加する子、個別や集団などそれぞれの希望に合わせた活動ができるようにしています。同時に、Covid-19 の感染拡大を回避するため、これまで以上にスタッフや参加者の健康管理、館内の消毒・換気等を整え、3密を避ける工夫をし、YMCA に通う一人ひとりが安心して利用できる環境を整えています。

先が見えず不安は募りますが、YMCA に来たときの子どもたちの笑顔を見てみると、一瞬でも子どもたちの不安が喜びに変わっていることに活動する意義を覚えます。

今週から日中の放デイに加えて語学クラスが始まります。子どもたちとスタッフの健康・安全を保ちながら、引き続き活動していきたいと思えます。

なお、学校再開の時期が各市町村で異なるため、今後も活動時間は適宜対応する予定です。

1日も早く日常の生活が戻り、安心して過ごせる日が来ることを願っています。



近くの公園にて

埼玉 YMCA では、4月から3名の新採用があり、川越センター職員は河合、近山に加え、浦和センターから宮崎純が異動となりました。後日改めてご紹介いたします。

2020 年度も皆様のご支援、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

国際会長・国際書記長メッセージ

27 March 2020

Coronavirus disease (COVID-19) pandemic
Let's overcome this crisis collectively and continue our service to humanity

Dear club members,

We hope that you and your family are safe and healthy in this unusual period of time. Our thoughts and prayers are with you and the other members of your club. We are trying our best to stay connected with all the leaders around the world through different ways and strengthen our solidarity and fellowship.

As you know, for the first time ever, all people, institutions, governments and organisations around the world are standing together with a common message that urges both prayers and action to protect life. The novel coronavirus pandemic has reached all regions of our planet. There is fear and panic, pain and suffering, and doubt and misinformation about both the virus and our inability to respond adequately. Amid stories of suffering and tragedy, there are also stories of simple kindness and extravagant love, of solidarity, and the sharing of hope and peace in innovative and surprising ways by our clubs and YMCAs which are responding in many countries.

As a socially committed organisation, we urge all to consider the needs of the most vulnerable people in this crisis, the poor and the aged, though we have many limitations placed on the way we can serve. In the midst of this grave crisis, we lift up prayers for those providing leadership and for governments around the world, urging them to give priority concern to those who live in poverty, as well as to refugees and other marginalised peoples living in our midst.

In this homebound period, club members shall experience a deep solidarity and fellowship by maintaining communication through telephone or through online platforms. We urge members and families everywhere to give highest priority to addressing this situation and assisting in whatever ways we can in our collective efforts to protect life. Let us manifest God's unconditional love in safe, practical ways that protect life, alleviate suffering, and ensure that clubs become a source of positivity and hope. You may be homebound these days.

However, physical distancing does not mean emotional isolation from others, and we urge clubs all over the world to review their role in society by safely ministering to, providing for, and caring for the poor, the sick, the marginalised, and the aged – especially all those who are most at risk due to the physical shutdown of services.

We would appreciate if you could share your thoughts and actions through our website <https://www.ysmen.org/covid-19> so that we may share your wisdom and creativity widely with the rest of our club members around the world.

We are confident that the world will overcome this crisis collectively and we will continue our service to humanity.

May God bless you and keep you safe.

Best regards,

Jennifer Jones International President
Jose Varghese International Secretary General

以下は
ワイズメンズクラブ国際協会
アジア・太平洋地域会長
田中博之メン
による日本語訳です。

2020年3月27日

新型コロナウイルスの世界的流行 この危機を、力を合わせて乗り越え、人類への私たちの奉仕を続けましょう

親愛なるワイズメンズクラブメンバーの皆さまへ、この異常な時期、皆さまと皆さまの家族が安全で健康であることを願っています。私たちの思いと祈りとは、皆さまと皆さまのクラブの他のメンバーとともにあります。私たちは、さまざまな方法で世界中のすべてのリーダー達とのつながりを保ち、連帯と友情を強めるために最善を尽くしています。

ご存じのように、世界中のすべての人々、機関、政府、組織は、歴史上初めて、祈りと命を守る行動を促す共通のメッセージとともに団結しています。新型コロナウイルスの世界的流行は、地球上のすべての地域に広がっています。恐怖とパニック、痛みと苦しみ、そしてウイルスおよび私たちがこれに十分に対応できないことについての疑念と誤った情報があります。苦しみと悲劇の物語の中であって、純然とした優しさと豊かな愛、連帯の物語もあり、そして、多くの国で対応している私たちのクラブとYMCAによる革新的かつ驚くべき方法での希望と平和の共有の物語もあります。

私たちが奉仕できる道には多くの制約がありますが、私たちは、社会的責任を負う組織として、この危機において最も脆弱な人々、すなわち、貧しい人々、高齢の人々のニーズを考慮することを皆さま

に強くお勧めします。この重大な危機の中で、私たちは、リーダーシップを提供する人々や世界中の政府のために祈りを捧げ、貧困に暮らす人々、難民および他の疎外された人々に優先的に関心を払うことを促します。

今のこの、家に留まらなければならない期間、クラブメンバーは、電話やオンライン環境を通じてコミュニケーションを維持することによって、深い連帯と友情を経験してください。全ての地のメンバーと家族の皆さまには、この状況に対処することを最優先し、また、生命を守るための私たちの集団的な努力で、私たちができるあらゆる方法でご支援いただくことをお願いいたします。神の無条件の愛を、生命を守り、苦しみを軽減する、安全で実行可能な方法で示し、クラブが前向きさと希望の源となることを確かなものとさせましょう。このところ皆さまは、家に留まっていなくてはならないかもしれせん。しかし、肉体的に距離を置くことは、他者からの感情的な孤立を意味するものではありません。世界中のクラブに対して、貧しい人々、病人、疎外された人々、高齢者、特に、サービスの物理的なシャットダウンによって最も危険にさらされているすべての人々に安全に奉仕し、必要なものを提供し、世話をすることで、社会におけるクラブの役割を再度見直していただくことをお願いいたします。私たちのウェブサイト

<https://www.ysmen.org/covid-19>

を通じて皆さまの考えと行動を共有していただくことによって、世界中のメンバーが皆さまの知恵と創造性を広く共にすることできるようになれば幸いです。

私たちは、世界がこの危機を、力を合わせて克服し、私たちの人類への奉仕を継続していくことを確信しています。神が皆さまを祝福し、安全に保ちますように。

心をこめて

ワイズメンズクラブ国際協会
国際会長 ジェニファー・ジョーンズ
国際書記長 ジョース・ヴァルギース

[シアトル便り](#)

森下 千恵子

昨日日本でも東京都が遂に外出自粛要請を出しました。シアトルから見ているといまだに大勢の人が都内を歩き、電車は相変わらず満員なのは不思議です。

私が最後にAラインバスにのったのは10日ほど前です。運転席の後ろは通常車椅子やベビーカー専用席なのですが黄色のテープが貼られ座れないようになっていました。乗車以外は後方のドアを使うようにと言うアナウンスが流れていま

した。運転手の安全のため仕方ありません。卒業のデプロマを取りに行くために乗ったのですが、ミンディは「郵送で送ってもらえばいいのに」と言いました。その通りです。最後に学校スタッフにお別れを言いたかったのと、貯まりにたまった小銭を紙幣に替えるため両替機械があるセーフウェイというグロサリーに寄りたかったのです。機械の使い方を教えてほしいと店のマネージャーに聞くとハンドサニタライザーを取り出しお互いの手を消毒するというサービスぶり。今やハンドサニタライザーは何処にも在庫がありません。私は9月に日本から友人が訪ねてくれた折彼女が置いて行ってくれた在庫が少しあります。その時は相変わらずの潔癖症ぶりを笑ったのですが、お友達がきれい好きで良かったと今は感謝しています。

学生とビジネス通勤者のいないAラインバスはただの汚い人達の無法地帯みたいです。

この日は学校スタッフに最後のお別れの他に、元クラスメイトに会い、まだ滞在の長い彼らに食材等を譲りました。本来ぎりぎりまで持っていようと思ったのですが状況が日々目まぐるしく変わるので早めに渡すことにしました。私にはこだわりの日本茶ですが10日間ぐらい我慢です。

3月に入ってから急にコロナウィルスの米国内感染が広がり、学校は卒業一週間前に閉鎖となりオンライン授業に切り替わりました。毎日毎日状況が変わります。くだんの潔癖症の友人ですが、主人がシアトルを訪れたのと同じ2月20日、ニューヨークで会議があり2時間の会議を終えて帰る飛行機の中で、彼女の近くにいたタイ人がCAに何かを告げ離れた席に移ったということです。

その日にタイでは日本人渡航者の入国拒否が行われていたのです。彼女によるとそれから1週間で米国の患者はあっという間に増えて1週間違っていたら大変なことになっていたとメールしてきました。それ以来事態が激変しました。最後の授業でまた会いましょう、帰る日は空港まで行きますと言ってくれたクラスメイト達ですが今となっては無理でしょう。また会いましょう、いつか。

日数的にはもう一度ダウントウンに行って、お土産を買い、シアトルのYMCAを訪ねるはずだったのですが行くことが出来なくなりました。2週間ほど前、この騒ぎの初めにはまだそんなことを考えていられたのかと思うといかに感染の広まりが早かったかと思えます。

毎日自宅にこもって帰りの準備やらメールを打ったり手紙を書いたりしています。先週末は天気良かったのでレドンドビーチまで散歩しました。マリンヒルズという住宅地を通って行くのですが、普段は数人しかすれ違わないのにコロナ騒ぎで皆行くところがないのかいつもより散歩する人が多い気がしました。それでも広いアメリカですから充分安全な距離が保てます。しばしコ

ロナウィルス忘れて潮風に吹かれました。犬を連れて散歩したり、キーボードを持ってきて演奏したりする人やカヌーで海に漕ぎ出す人もいます。昔カヌーを楽しんでいたことがあったのを思い出しました。「またやってみようかな」などとコロナのない状況を頭の中で想像します。

連日のメールで川越クラブもそうですが各クラブの例会やイベントの中止の通知を見ると残念ですが、皆様の健康がなりより気がかりです。かく言う私も無事に帰れたとして14日間の自宅待機です。娘も在宅ワークになりおそらくこのままだと主人も在宅ワークになりそうなので、何かあったとしても被害は最小限に留められそうです。

皆様にまたお会いする日を心待ちにしております。お元気で！



Marine Hills から Poverty Bay を見る



Safe Way のバス用品の棚は空っぽです。



Redondo Beach

編集後記

令和2年4月号の川越クラブのブリテンをお届けします。

コロナウイルスによる新型肺炎の流行が拡大しています。世界的流行 pandemic が宣言され地球上のすべての地域に広がっています。

私も、今日(4月2日)から自宅でのテレワークです。自宅ではできない業務もありますので、飛び飛びの出勤にはなりますが経験したことのない事態に戸惑っています。

このような状況の中で、例会も中止とせざるを得なくなりました。

吉野会長からは、会員の皆さんの情報交換とこのような状況にあっても何かできることがないか、お互いに知恵を出し合いましょうというメッセージが寄せられました。

まずは、ブリテンが情報共有の助けになればと願っています。

川越クラブは3月例会につづいて4月例会も中止としました。早くこの感染が収束して、活動が再開できることを祈っています。

大変残念ですが、第23回東日本区大会の中止の連絡がブリテン発行の直前4月6日にありましたことを追記いたします。

利根川太郎